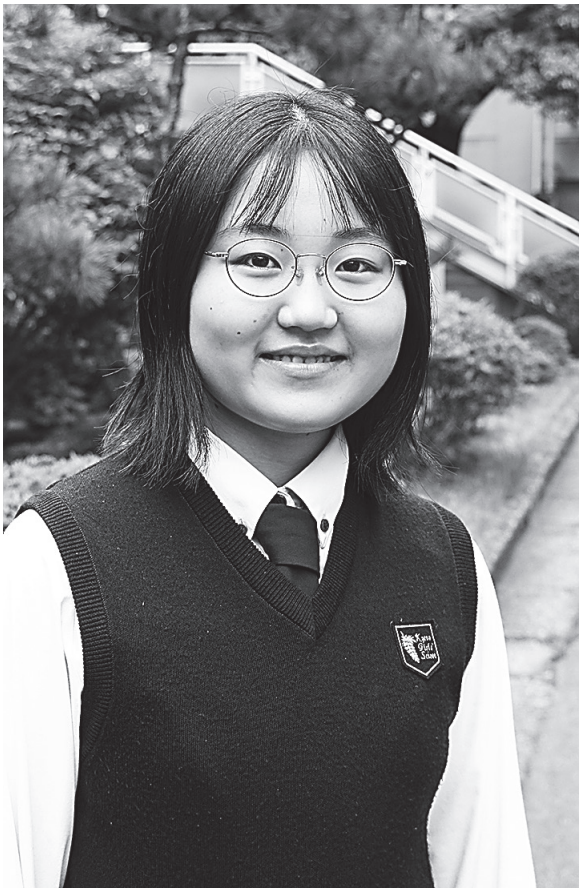
ひと

「私が連れてってあげる」



「ここにかける、ここから始まる。」

今夏に開催される第106回全国高校野球選手権大会のキャッチフレーズコンクール（朝日新聞社など主催、日本高等学校野球連盟後援）で、応募作品4662点からグランプリに選ばれた。

キャッチフレーズ作りは、昨秋の国語の授業での課題。中学から教わる山本涼子教諭から「甲子園に出場した選手がよく口にする『監督を甲子園に連れていきたかった』。誰かグランプリを取って私を甲子園に連れてって」と呼びかけられた。

言葉はパッと浮かんできた。「WBCで優勝した日本代表の選手の多くが甲子園を経験していた。選手たちにとって甲子園はスタート地点」ということから「ここから始まる」。「ここにかける」は、自身が取り組む部活動で、「本番で精いっぱい全力を出し切ること」を大事にしてきた経験を言葉にした。

グランプリとわかったのは3月の学年末試験の休憩時間。山本教諭が通知を持ち、「よしかさん」と興奮気味に教室に駆け込んできた。歓声が上がる教室で、冷静な表情で通知を受け取ったという。「次の試験が気になっていて。周りの人たちの『おめでとう』という反応にびっくり」と笑う。

2年生からは選択科目の学びが始まった。「生物に化学に地理。選択した授業は特に楽しい」と目を輝かせ、部活動の演劇部の話題では、「先輩や同級生がみんな真剣だから、恥ずかしさは感じない。入り込めている」ときっぱり。日々「ここにかける」充実した高校生活を送る。甲子園に招待されるという。取材を見守る山本教諭に「私が甲子園に連れてってあげる」とほほ笑みかけた。

塚本（つかもと） よしか さん
（京都女子高校２年生）

宗門校の京都女子学園で中学から学ぶ。夏の甲子園キャッチフレーズコンクールでグランプリに選ばれた。